

<基本情報>

所在地：大分県宇佐市安心院町

<農場概要>

- 有機JAS認証ほ場14.75ha（ハウス3.45ha、露地11.3ha）
- ベビーリーフ、パクチー、リーフレタス、その他葉物野菜を生産
- 従業員：15名（代表含む社員3名、技能実習生4名、パート8名（増減有））



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 東日本大震災の影響により、有機ベビーリーフが不足していたため、ベビーリーフを栽培している茨城県の有機農業法人が技術提供する形で福岡県の有機農産物販売会社との共同で当社を設立。
- **平成26年（2014年）に有機JAS認証を取得。**

<販売について>

- 販売先の8割近くは、スーパー等小売店向け（ほぼ関東へ出荷。一部大分県内へ出荷）。約2割程度は、仲卸へ販売（主に福岡県）。
- 令和2年当初は、コロナ渦により一時的に売上が落ち込んだが、その後、コロナ渦の巣ごもり需要により、売上が順調に回復し、今年は、前年と比較して売上が伸びた。
また、販売先のニーズに応じて商品構成の見直し（内容量を細分化）等を行ったことが売上増に貢献した。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- 病害虫対策
ベビーリーフは播種から収穫まで2週間程度（春～秋）と作期が短く、病害虫被害のリスクは少ない。パクチーは、作期が45日～60日程度（春～秋）のためアブラムシ等の虫の被害はある。
- 雑草対策
ほ場周辺は、全て草刈り機で除草。ハウス内は太陽熱処理や手刈りで雑草を除去する。露地の雑草は、耕耘作業及び草刈機等で除草する。
- 土づくり
赤土（粘土質）のため、成熟した土壌となるには時間がかかる。市内の酒造メーカーから焼酎粕を譲り受け、おからや米ぬか、牛ふん、鶏ふんを混ぜた堆肥（植物性原料主体）を自社で製造し、使用。

<苦労しているところ>

- 当初は、土壌が赤土で硬く、礫が多いため、耕耘作業が困難で、大きな石は手で拾いつつ作業を行った。



<今後の展開>

- 約100棟のハウスのうち令和元年竣工のハウスは、有機JAS取得済みであるものの、土壌が成熟しておらず、平成26年に竣工したハウスに比べ収量が劣るため、生産安定が当面の目標。

【お問合せ先】TEL. 0978-58-3606

ホームページ：https://ja-jp.facebook.com/ajimuof/